第 136 号
2025 年 11 月 13 日 発行
発行責任者　工藤 忠男
銚子ジオパーク市民の会
URL： https://choshigeopark.com

第十五回日本ジオパーク全国大会 十勝大会に参加して

田中　豊

九月二十七日(土)、二十八日(日)に標記大会が好天に恵まれ、美瑛町、上富良野町にて六百名参加で盛大に開催された。銚子ジオパークからは推進協議会から越川会長以下六名、市民の会から工藤会長以下六名および今回初めて市立銚子高校生徒会二名が参加した。大会初日の午前の開会式では、上富良野町東中小学校児童による「清流太鼓」のアトラクション、大会実行委員長の角和美瑛町長、日本ジオパークネットワーク古川理事長はじめ大会関係者の挨拶、新規ジオパークの認定式があり、最後に日本ジオパークネットワーク表彰が行われ、銚子ジオパーク市民の会が「継続的かつ実践的な市民主体の活動が、日本ジオパークの地域振興及び保護・保全において、大変優れた事例である」との理由で表彰された。

開会式後、美瑛町美宙天文台名誉台長の佐治春夫氏による「宇宙創成から未来へこれからの地球と私たち７」の講演が行われた。

午後は九分科会の他、物産展・協賛各社の展示などが開催され、夜は三宿泊所で交流会が行われ、北海道ならではの食材を使った料理を頂き、旧知の人や初対面の人と交流を深めた。

二日目は場所を上富良野町に移して、口頭発表では、ユースセッションで銚子ジオパーク推進協議会事務局の岩本専門員が指導した市立銚子高校生徒会の二名が「ちんちぇー魚でいっぺー幸せ～出会いが生んだ奇跡の町銚子～」の演題で堂々と発表した。ポスターセッションでは上田専門員が「銚子にぎわい漁師町活性協議会との連携活動」の題名で展示発表した。

○　○

市民の会新入会員の紹介

ジオパーク活動に参加

井川　浩良

私が活動に参加するきっかけの一つは、大学の友人がガイドボランティア活動をしていることです。私はこれまで銚子に縁があり、お世話になって数十年ですが、この観光地銚子の素晴らしさに関心が薄いまま過ごしてきました。仕事から離れ、丁度これからのステージで趣味(絵画、映画・スポーツ鑑賞、旅行)から、更に広げたい気持ちが湧いてきた時でした。

情報源は銚子市の広報誌でした。偶然にもガイド講座（インタープリター講座 2024.9.14-16）がジオパーク事務局主催であり、即参加。自然と共に体験学習により、ガイドの楽しさ、銚子の魅力と参加した方々との交流が自己の枠を広げました。日本の価値ある遺産である「ジオパーク」を多くの方々に伝え、共感する活動の一翼を担えたら、趣味と実益を超え、お世話になった人と銚子に少しでも恩返しになるかなと思います。

ジオガイドの筆随一レリ

回想「伊能忠敬銚子測量記念碑」

宮内　敏

伊能忠敬研究会の理事会後の会食で「伊能忠敬銚子測量記念碑を建てたい」と話すと、会創設者の渡辺一郎氏が「協力するよ」、高安克己氏（元島根大学副学長）も「銚子に行くよ」と即答して頂いた。

市とのパイプ役を求めて、工藤忠男氏（当時、銚子市議会副議長・現市民の会会長・元同僚）に伊能忠敬研究会に入会して頂いた。工藤氏は千葉科学大学の安藤生大先生と「銚子ジオパーク」を目指していた。私は安藤先生の勉強会に参加、後に市民の会入会に繋がった。　その後、何度か市関係者へのプレゼンを経て、前銚子市長の野平匡邦氏との面談が実現することになった。

渡辺・高安両氏に来銚頂き、伊能忠敬の富士山の方位測量の地犬若岬をご案内した。その際、高安氏から「測量地点が世界遺産になっている例がある。犬若岬の富士山の方位測量地点も大事な場所」と話された。市長面談でも両氏から伊能忠敬銚子測量の重要性を話して頂いた。

その後、碑建立計画は紆余曲折したが最終的に市政施行８０周年の記念事業に応募し、その事業の一つになった。

当時、銚子商工会議所会頭であった伊藤浩一氏に伊能忠敬銚子測量記念碑建立実委員会長になって頂き、新委員も加わり船出した。多くの方々の賛同を頂き、（次頁に続く）